

第 47 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミⅡ	チーム名	ベスト 10
タイトル	甲南大生は良い企業に就職できるか		
テーマ群	e)産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>おはようございます！</p> <p>みなさんは就職活動についてどのぐらい考えていますか。ここ数年の就職状況は売り手市場と言われている程学生有利の状況です。そのような状況において、私たち甲南大生は企業からどのような印象を持たれているか気になりませんか。自分たちが就職活動に有利なのか、不利なのか。昔から言われている学歴フィルターに私たちがどの位置にいるのか私たちの発表したことが少しでも参考になれば良いと考えています。</p> <p>まず、良い企業というのはどのような企業なのか、また企業が求める人材を定義するとどのようなものとなるのか。甲南大生であることが就職活動において企業にどのような印象を与えているかを本校のキャリアセンターなどを通して調べました。関関同立と産近甲龍のホームページのデータから各大学の職業別就職割合を求めました。甲南大学の場合女子と男子でも就業別就職割合に違いがあるのでしょうか。さらに、甲南大生は良い企業に就職できるという仮説を検証していきます。</p> <p>以上の研究をすることで就職を考えている甲南大生、甲南大学を志望する高校生が甲南大生の社会的立ち位置と特徴を理解し、就活や学校生活においてどこを伸ばしどこを修正していくべきかの考察材料となることが期待できます。また甲南大学というレンズを通して学歴フィルターの存在意義、フィルター越えに必要な要素とは何かを見ることで、甲南大生の就職活動において生じる弊害、問題点を明確にし問題解決の糸口になると考えます。</p>		